

釜石市新規スポーツ施設整備予定 カルテ

施設名	テニス場
整備背景	これまで、民間テニス場が上中島町に、市営テニス場は根浜に整備されていましたが、震災及び復興整備により施設が廃止され、現況では公共のテニス場が無い状況です。関係団体からは「8面のオムニコート（砂入り人工芝）での新設」での要望を受けており、復興整備と並行し検討すると回答済みのうえ、実施計画に計上するも、整備費などの課題により計画が先延ばしとなっている状況です。
整備予定地	釜石市鵜住居町内
	 
整備内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ オムニコート（砂入り人工芝）4面 ○ 外周フェンス ○ 排水設備 ○ テニス備品（ネット他）
整備費	概算額 105,400,000円
財源	釜石市一般財源で整備予定ではあるが、財政状況を踏まえ、各種補助制度の活用が必須であり現在活用可能な補助を模索中です。
R2審議会での意見	<ul style="list-style-type: none"> ・テニスコートは、震災前にあったコートなので、鵜住居町にコート4面が確保できる市有地があるのであれば、その地区にスタジアム・体育館と一体となり使いやすくなるのかなと思います。 ・上中島のテニス場があった時代を知っているので寂しい。中妻地区に、体育館やグラウンドとか子供が遊べるところとかスポーツするところがあったのですが、やっぱり少なくなって、個人的には上中島、中妻の方に整備してほしいと思いました。 ・テニスコートは、社会人がテニスコートを使う場合、平日の夜の利用が結構あると思う。ナイター設備にして、昼夜両方使えるような整備にしていただきたいと思います。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・建設に係る経費として一般財源の他に、補助・起債など利用可能な財源を確保することが課題となってます。 ・競技者及び関係団体からは8面整備の要望はありますが、現状として4面を整備するのが現実的と考えますが、その際団体との調整が必須となります。

釜石市新規スポーツ施設整備予定 カルテ

施設名	陸上競技場
整備背景	市民の陸上競技の場として利用されてきました釜石市陸上競技場は、希望郷いわて国体の会場として利用するため、平成25年度に関係団体などの理解のもと、国際サッカー協会などの支援を得て、人工芝のグラウンドに全面変更したほか、夜間照明設備、クラブハウスを整備済みです。陸上関係団体からは、陸上競技場の再整備を望む声が多く、検討を進めております。
整備予定地	釜石市大字平田
	 
整備内容	<input type="radio"/> 全天候型400mトラック <input type="radio"/> 散水設備 <input type="radio"/> 排水設備
整備費	概算額 437,700,000円
財源	釜石市一般財源で整備予定ではあるが、財政状況を踏まえ、各種補助制度の活用が必須であり現在活用可能な補助を模索中です。
R2審議会での意見	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減、少子高齢化を踏まえ施設はある程度広域的にと思います。各施設が一つのまちで完結できるというのは、これから社会は無理です。高速等の交通網が発達し移動距離、時間は短くなっているわけなので。その中で岩手県全体の計画のなかでの釜石の立ち位置のシミュレーションが必要だと思います。 ・大会参加を前提に、少なくとも練習も同様な環境整備をと思います。 ・釜石市で陸上競技場を整備する際には、どのような活用を図るのか。施設を使って大会を誘致し、維持していくための構想をもつのか。それとも、スポーツ人口を増やし、健全育成と生涯スポーツの視点である程度利用できるような施設を整備するのか。戦略が必要だと思います。 ・陸上競技場整備に大きな予算が生じる。まず利用者とか維持、管理費、経費はどのようにしていくのかなというのをしっかり見極めていくのが課題だと思います。 ・まず平田に足をどれくらい運べるのかなと。学校近くに競技場があるのが一番ベストですが、学校単位でどれくらい平田へ練習にいけるのか使用頻度等も考えてすごく大きな課題だと思います。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・建設に係る経費として一般財源の他に、補助・起債など利用可能な財源を確保することが課題となってます。 ・施設利用者の年齢層、利用に際する課題、施設の仕様、整備候補地など、整備運営に関する洗出しが必要となっています。